

高津支援学校　学校だより

令和8年 11 月 25 日発行
102 号

学 習 発 表 会





11 月 10 日～12 日に学習発表会が行われました。多くの保護者の皆様にご参観いただき、ありがとうございました。どの学部・学年でも、子どもたちがこれまでの学習の成果を発表する姿をご覧いただけたのではないでしょうか。今回は、私が特に心に残った二つの場面を紹介します。

一つ目は、学年Ｔシャツの準備が始まった頃のことです。学年の打ち合わせで、中心となって準備を進めてきた教員が、他の教員にＴシャツの作り方を具体的に説明していました。その中で「型はありますが、ここは子どもの好きなように作ってください。」「子どもの…」「子どもが…」と、何度も「子ども」という言葉を口にしていたのが印象的で、どんなＴシャツができるのだろうと、とても楽しみにしていました。完成したＴシャツは、一目で「お揃い」とわかるものでありながら、一枚一枚に個性があり、舞台での発表にもよく合っていました。きっと全校のどのクラス・学年でも、児童・生徒と相談しながらデザインや色を考えて作ったのだと思います。

二つ目は、廊下に展示された作品です。どの作品も工夫が凝らされ、見応えがありました。昨年もこの「スマイルのたね」で廊下の作品展示について書きましたが、学習発表会での展示は格別です。どんな表情で、どのように作ったのだろう。根気強く、丁寧に取り組んだのだろうな、とあれこれ想像しながら見ていると、まるで「高津美術館」にいるような気分になりました。

副校長　古川　玉緒

小学部６年　修学旅行　（10 月 14 日～15 日）



一泊二日で八景島シーパラダイスに行ってきました。

１日目は、しらうみ食堂でお肉たっぷりの定食を食べた後、メリーゴーランドや自分で選んだアトラクションに乗って、友達と一緒に笑顔いっぱいで楽しむ姿が見られました。お土産の買い物では、今まで培ってきた経験を活かして、商品をレジに持って行き、お金のやりとりをすることができました。

２日目は、水族館でたくさんの魚や動物を見た後、シーパラダイスのキャラクターのシータくんと集合写真を撮って、海カフェでカレーライスを食べました。

修学旅行を通して、６年生は仲間との絆をさらに深めることができました。これからもたくさんの経験を積みながら、素敵な思い出を増やしていきたいと思います。

小学部6年学年長　菅原　廉太

中学部３年 修学旅行（10 月 21 日～23 日）



二泊三日で三島・箱根方面へ修学旅行に行きました。

１日目は新幹線に乗り、旅行への期待で気分を高めながら出発しました。沼津では、揚げたてのアジフライを味わいました。三島スカイウォークでは雨予報でしたが、幸い雨に降られることなく、強い風の中でよりスリリングになった日本最長級のつり橋を渡りました。宿泊先の湯河原のホテル青巒荘では、お風呂で体を温めた後、夕食のビュッフェを楽しみました。唐揚げやハンバーグなどの人気メニューを、教員と相談しながらおかわりし、お腹いっぱい食べることができました。

２ 日目は芦ノ湖で海賊船に乗りました。多くの観光客でにぎわう中、湖を渡る心地よい風を感じたり、美しい景色を眺めたりして過ごしました。その後、水族園では動物への餌やり体験やアシカショーを楽しみました。ロープウェイでは標高の高さから少し肌寒さを感じながらも、硫黄のにおいが漂う展望エリアを元気に散策し、記念撮影を行いました。

３ 日目は鈴廣かまぼこの里で、かまぼことちくわ作りに挑戦しました。慣れない包丁の使い方や魚のすり身の感触に戸惑う様子もありましたが、一生懸命に取り組み、それぞれ個性あふれるちくわを完成させることができました。最後はロマンスカーで新百合ヶ丘駅まで移動し、解散式を行いました。友達や教員と３日間を共に過ごし、充実した修学旅行となりました。

中学部３年学年長　西川　慎二

＊進路＊

令和８年度も残すところあと４か月となりました。保護者の皆様におかれましては、企業・福祉施設見学等の進路行事へのご参加や、日頃の進路指導へのご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。特に高等部３年生の保護者の皆様には、進路決定に向けた実習や進路学習へのご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

先日の学習発表会では、一人ひとりがこれまでの学習の成果を発揮し、大きな成長を感じる機会となりました。仲間と協力しながら練習を重ね、本番に向けて努力する姿からは、自信や達成感だけでなく、挑戦する力や最後までやり遂げる力も感じられました。

本校では、自分らしい生き方を実現できるよう、キャリア教育を推進しています。進路選択は短期間でできるものではなく、日々の学習や学校行事、実習など、さまざまな経験の積み重ねが将来につながります。楽しさや達成感を味わう経験だけでなく、課題や困難を乗り越える経験も大切な学びとなります。学習発表会で見られたような、努力を続ける力や仲間と協力する力も、社会の中で大切にされる力です。

自分の「好きなこと」や「得意なこと」を広げ、「苦手なこと」や「不安なこと」を少しずつ減らしていくことが、将来の進路選択につながります。ご家庭でも、お子様の可能性や将来の選択肢について話し合う機会をもっていただければ幸いです。

進路担当　熊谷　潤